



[データソース] ウィンドウ

OnCommand Workflow Automation

NetApp
October 09, 2025

目次

[データソース] ウィンドウ	1
データソーステーブル	1
履歴テーブル	3
ツールバー	5
[新しいデータソース] ダイアログボックス	6
データソース構成のプロパティ	6
コマンドボタン	7
[データソースの編集] ダイアログボックス	8
データソース構成のプロパティ	8
コマンドボタン	9

[データソース] ウィンドウ

[データソース] ウィンドウでは、既存のデータソースの表示、編集、削除、新しいデータソースの作成、およびデータソースの取得を行うことができます。このウィンドウにアクセスするには、* Settings * を選択し、* Setup * で * Data Sources * をクリックします。

データソースは読み取り専用のデータ構造で、特定のデータベース内のデータのソースに関する情報が含まれています。環境をポーリングする前に、データソースを定義する必要があります。たとえば、ストレージ環境に関する情報を含む Active IQ Unified Manager データベース、またはデータセンターに関する情報を含む VMware データベースのいずれかです。

- ・データソーステーブル
- ・履歴テーブル
- ・ツールバー

データソーステーブル

[データソース] テーブルには、既存のデータソースが一覧表示されます。各列に対応したフィルタリング機能とソート機能を使用したり、列の順序を並べ替えたりして、テーブルの表示をカスタマイズできます。

- ・ テーブル全体のフィルタリングを有効または無効にします。フィルタリングが無効になっている場合は、アイコンの上に赤色の「x」が表示されます。
- ・をダブルクリックします  フィルタリングの選択をクリアおよびリセットします。
- ・ 各列ヘッダーのを使用すると、列の内容に基づいてフィルタリングできます。をクリックします  列では、ドロップダウンリストまたは使用可能なすべての項目で特定の項目をフィルタできます。
- ・列ヘッダーをクリックすると、ソートの昇順と降順が切り替わります。適用されたソート順序は、ソート用矢印 ( (昇順の場合) および  (降順の場合))。
- ・列の位置を並べ替えるには、列をドラッグアンドドロップして必要な順序で配置します。ただし、これらの列を非表示にしたり削除したりすることはできません。
- ・[* 検索 * (Search *)] フィルタテキストボックスをクリックすると、特定のコンテンツを検索できます。さらに、対応する列タイプ、アルファベット、数字を指定して、サポートされている演算子を使用して検索することもできます。

次の表に、[データソース] テーブルのアルファベット列と数値列でサポートされる演算子を示します。このテーブルは、[* 検索 *] フィルタテキストボックスから使用できます。

アルファベット	数値
・が含まれます	・が等しい
・にはを含めません	・が同じではありません
・がで始まります	・より小さい
・が次の値で終わる	・が次の値より大きい
・が等しい	・が次の値以下です
・が同じではありません	・が次の値以上である必要があります
・リセットします	・間（Between）
	・リセットします

[データソース] テーブルには、次の列があります。

- ・* 名前 *

データソースの名前が表示されます。

- ・* データソースタイプ *

データソースのタイプが表示されます。

- ・* ホスト名 *

データソースのホスト名または IP アドレスが表示されます。

- ・* スキーム *

データソースに関連付けられているキャッシング方式が表示されます。たとえば、VM キャッシュ方式には、仮想マシン、ホスト、データストアなど、仮想環境に関連するデータが含まれます。関連するスキーム情報はデータソースから取得されます。

- ・* 間隔（分） *

データソースの 2 回の連続した収集の間隔（分）が表示されます。

- ・* 開始時間 *

データ取得プロセスが開始された日時が表示されます。

検索 * フィルタテキストボックスのカレンダーアイコンをクリックして、特定の開始日を持つデータソースを検索します。

- ・* 期間（秒） *

データソースからの前回のデータ取得処理にかかる時間（秒）が表示されます。

- ・* ステータス *

現在のデータ取得プロセスのステータス（存在する場合）または前回のデータ取得プロセスのステータスが表示されます。ステータスには次のオプションがあります。

- すべて
 - 中止しています
 - キャンセルされました
 - 完了しました
 - 失敗しました
 - 取得なし
 - 廃止された
 - 保留中です
 - 実行中です
 - スケジュール
- * メッセージ *

データ収集プロセスでエラーやエラーが発生して停止したときに、エラーメッセージが表示されます。

履歴テーブル

[History] テーブルには、データソーステーブルで選択したデータソースの名前がヘッダーに表示され、選択したデータソースの各データ取得プロセスの詳細が一覧表示されます。データ取得プロセスが実行されると、プロセスのリストが動的に更新されます。各列に対応したフィルタリング機能とソート機能を使用したり、列の順序を並べ替えたりして、テーブルの表示をカスタマイズできます。

-  テーブル全体のフィルタリングを有効または無効にします。フィルタリングが無効になっている場合は、アイコンの上に赤色の「x」が表示されます。
- をダブルクリックします  フィルタリングの選択をクリアおよびリセットします。
-  各列ヘッダーのを使用すると、列の内容に基づいてフィルタリングできます。をクリックします  列では、ドロップダウンリストまたは使用可能なすべての項目で特定の項目をフィルタできます。
- 列ヘッダーをクリックすると、ソートの昇順と降順が切り替わります。適用されたソート順序は、ソート用矢印 ( (昇順の場合) および  降順の場合)。
- 列の位置を並べ替えるには、列をドラッグアンドドロップして必要な順序で配置します。ただし、これらの列を非表示にしたり削除したりすることはできません。
- [* 検索 * (Search *)] フィルタテキストボックスをクリックすると、特定のコンテンツを検索できます。さらに、対応する列タイプ、アルファベット、数字を指定して、サポートされている演算子を使用して検索することもできます。

次の表に、履歴テーブルのアルファベット列と数値列でサポートされている演算子を示します。このリストは、* 検索 * フィルタテキストボックスで使用できます。

アルファベット	数値
・が含まれます	・が等しい
・にはを含めません	・が同じではありません
・がで始まります	・より小さい
・が次の値で終わる	・が次の値より大きい
・が等しい	・が次の値以下です
・が同じではありません	・が次の値以上である必要があります
・リセットします	・間（Between）
	・リセットします

History テーブルには'次のカラムがあります

- **ID**

データ取得プロセスの ID 番号が表示されます。

識別番号は一意であり、データ取得プロセスの開始時にサーバによって割り当てられます。

- * **開始時間** *

データ取得プロセスが開始された日時が表示されます。

特定の日付に開始されたデータ取得プロセスを検索するには、*検索* フィルタテキストボックスのカレンダーアイコンをクリックします。

- * **期間 (秒)** *

データソースから最後に取得したプロセスの時間 (秒) が表示されます。

- * **計画取得** *

データ取得プロセスのスケジュールされた日時が表示されます。

特定の日付にスケジュールされているデータ収集を検索するには、*検索* フィルタテキストボックスのカレンダーアイコンをクリックします。

- * **スケジューリングタイプ** *

スケジュールのタイプが表示されます。スケジュールタイプは次のとおりです。

- すべて
- 即時
- 繰り返し
- 不明です

- * **ステータス** *

現在のデータ取得プロセスのステータス（存在する場合）または前回のデータ取得プロセスのステータスが表示されます。ステータスには次のオプションがあります。

- すべて
 - 中止しています
 - キャンセルされました
 - 完了しました
 - 失敗しました
 - 廃止された
 - 保留中です
 - 実行中です
 - スケジュール
 - 取得なし
- * メッセージ *

プロセスが停止して続行できなかった場合に、データ取得プロセス中に発生したエラーに関するメッセージが表示されます。

ツールバー

ツールバーは、[データソース] テーブルの列見出しの上にあります。ツールバーのアイコンを使用して、さまざまな操作を実行できます。ウィンドウの右クリックメニューを使用して、これらの操作を実行することもできます。

- *  (新規) *

[新しいデータソース] ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、新しいデータソースを追加できます。

- *  (編集) *

[データソースの編集] ダイアログボックスが開き、選択したデータソースを編集できます。

- *  (削除) *

データソースの削除の確認ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、選択したデータソースを削除できます。

- *  (今すぐ取得) *

選択したデータソースのデータ収集プロセスを開始します。

- *  (スキームのリセット) *

スキームのリセットの確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、選択したスキームのキャッシュストレージをリセットできます。キャッシュは、次回のデータ取得プロセスでリセット

されます。



リセット処理では、すべてのテーブルを含むキャッシュされたデータがすべて削除されます。キャッシュ全体は、次のデータ取得プロセスの最初から作成されます。

[新しいデータソース] ダイアログボックス

[新しいデータソース] ダイアログボックスでは、新しいデータソースを追加できます。

データソース構成のプロパティ

- * 名前 *

データソースの名前を指定できます。

- * データソースの種類 *

データソースのタイプとして、「Active IQ Unified Manager - 6.0 (MySQL)」などを選択できます。

データソースタイプを選択すると、ポート、スキーム、ユーザ名、パスワード、間隔（分）フィールドとタイムアウト（秒）フィールドにデータが入力されます。



OnCommand Workflow Automation (WFA) のデータ保護ワークフローを Active IQ Unified Manager サーバから実行する場合は、Active IQ Unified Manager サーバで WFA をセットアップする必要があります。

詳細については、OnCommand Unified Manager オンラインヘルプを参照してください。

- * ホスト名 *

データソースのホスト名または IP アドレス (IPv4 または IPv6) を指定できます。



Active IQ Unified Manager データソースタイプでは、IPv6 アドレスはサポートされません。

- * ポート *

選択したデータソースタイプに関連付けられているポート番号（ある場合）が表示されます。

デフォルトのポートを変更して、データソースに別のポートを指定できます。

- * スキーム *

選択したデータソースのタイプに関連付けられているスキームが表示されます。例：_cm_storage_for Active IQ Unified Manager - 6.0 (MySQL)。

このプロパティは変更できません。

- * ユーザー名 *

選択したデータソースタイプに関連付けられているユーザ名（存在する場合）が表示されます。

デフォルトのユーザ名を上書きするには、このデータソースに適切なユーザ名を指定する必要があります。

- Active IQ Unified Manager 6.0 以降では、Active IQ Unified Manager サーバで作成したデータベースユーザアカウントのユーザ名を入力する必要があります。
- Performance Advisor の場合は、GlobalRead の最小ロールを持つ Active IQ Unified Manager ユーザのユーザ名を入力する必要があります。

- * パスワード *

選択したデータソースのタイプに対応するパスワードを指定できます。

このデータソースのユーザ名のデフォルトのパスワードを上書きするには、パスワードを指定する必要があります。

- Active IQ Unified Manager 6.0 以降では、Active IQ Unified Manager サーバで作成したデータベースユーザアカウントのパスワードを入力する必要があります。
- Performance Advisor の場合は、GlobalRead の最小ロールを持つ Active IQ Unified Manager ユーザのパスワードを入力する必要があります。

- * データベース *

- * 間隔（分） *

値をクリックし、上下の矢印を使用して間隔（分）を選択できます。



間隔をゼロ（0）に設定すると、自動サンプリングは無効になります。

データサンプリングのデフォルトの間隔は次のとおりです。

- スクリプトベースのデータソースの種類：1440（パフォーマンスとVC）
 - SQLベースのデータソースのタイプ：30（cm_storage、storage、cm_performance）
- * セットアップ手順ガイド * を参照してください

セットアップ手順ガイド（Setup Instruction Guide）ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、データソースを設定するための手順を指定できます。

コマンドボタン

- * 保存 *

設定を保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

[データソースの編集] ダイアログボックス

Edit Data Source ダイアログボックスでは、既存のデータソースを変更できます。

データソース構成のプロパティ

• * 名前 *

データソースの名前を変更できます。

• * データソースの種類 *

データソースのデータソースタイプが表示されます。このフィールドは変更できません。

• * ホスト名 *

データソースのホスト名または IP アドレス（IPv4 または IPv6）を指定できます。



Active IQ Unified Manager データソースタイプでは、IPv6 アドレスはサポートされません。

• * ポート *

選択したデータソースタイプに関連付けられているポート番号（ある場合）が表示されます。データソースのデフォルトのポート番号は変更できます。

• * スキーム *

選択したデータソースのタイプに関連付けられているスキームが表示されます。例：_cm_storage_for Unified Manager - 6.0 (MySQL)。

このプロパティは変更できません。

• * ユーザー名 *

選択したデータソースタイプに関連付けられているユーザ名（存在する場合）が表示されます。

デフォルトのユーザ名を上書きするには、このデータソースに適切なユーザ名を指定する必要があります。

- Unified Manager 6.0 以降では、Unified Manager サーバで作成したデータベースユーザアカウントのユーザ名を入力する必要があります。
- Performance Advisor の場合は、GlobalRead の最小ロールを持つ Active IQ Unified Manager ユーザのユーザ名を入力する必要があります。

• * パスワード *

選択したデータソースのタイプに対応するパスワードを指定できます。

このデータソースのユーザ名のデフォルトのパスワードを上書きするには、パスワードを指定する必要があります。

- Unified Manager 6.0 以降では、サーバで作成したデータベースユーザアカウントのパスワードを入力する必要があります。
 - Performance Advisor の場合、GlobalRead の最小ロールを持つ Unified Manager ユーザのパスワードを入力する必要があります。
- * データベース *

選択したデータソースタイプに関連付けられているデータベース名（存在する場合）が表示されます。

- * 間隔（分） *

値をクリックし、上下の矢印を使用して間隔（分）を選択できます。



間隔をゼロ（0）に設定すると、自動サンプリングは無効になります。

データサンプリングのデフォルトの間隔は次のとおりです。

- スクリプトベースのデータソースの種類：1440（パフォーマンスと VC）
- SQL ベースのデータソースのタイプ：30（cm_storage、storage、cm_performance）

- * セットアップ手順ガイド * を参照してください

データソースを設定する手順の概要を示すセットアップ手順ガイド（Setup Instruction Guide）ダイアログボックスを開きます。

コマンドボタン

- * スキームのリセット *

スキームのリセットの確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、選択したスキームのキャッシュストレージをリセットできます。これは次回のデータ取得時に発生します。



リセット処理では、すべてのテーブルを含むキャッシュされたデータがすべて削除されます。キャッシュ全体は、次回のデータ取得時に最初から作成されます。

- * 保存 *

設定を保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。